

2月定例教育委員会 会議録

日 時	令和6年2月14日（水） 午後3時00分～午後3時40分
場 所	本庁舎 9階 会議室9-2
出席委員	松田教育長・市川職務代理者・末木委員・塚越委員・上原委員
出席事務局職員	飯田教育部長・岡部教育総室長・林生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・中田総務課長・風間学校教育課長・石川学事課長・新堀甲府商業高等学校事務長・千野甲府商科専門学校事務長・浅井教育施設課長・森本生涯学習課長・臼井スポーツ課長・青木図書館長・宮崎総務係課長補佐・菱山総務係長・坂本総務係主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 末木委員

・1月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

松田

塚越

市川

上原

末木

1 開会

松田教育長

これより2月定例教育委員会を開会します。

末木委員をお願いします。

(1) 教育委員あいさつ

末木委員

まだ、2月の半ばではありますが、日脚は長くなり空も明るさを増してきて、まさに光の春を実感します。

我が家の畑の梅もすでに五分咲きに近く、鶯の初鳴きも間もなくかと思わせてくれます。春は間もなくだと、心が弾んできます。

さて、先月末甲府商科専門学校の山梨地域経済概論の成果発表会を聞きに行きました。この講座は同校の1年生の必修科目で、学科を超えてテーマごとにグループをつくり、専門家の指導を受けながら一年間研究するものです。

今年度は、地場産業についてそれぞれ取り上げた業種の歴史を調べ、現状の課題等を整理し、将来に向けての取組を提案するものでした。若い彼らが自信を持ってはつらつとして発表する姿に、好感を持ち明るい気分になりました。

同じく先月末、厚生労働省が昨年の自殺統計を性別や年齢別の分類や原因・動機などを集計して公表しましたが、その内容は厳しいものでした。

全体の自殺者数は2万人を超えて高止まりの状態にあり、極めて深刻であります。小中高生の自殺は、過去最多だった一昨年の514人に次ぐ507人となり、こちらも同様の傾向でした。内訳は小学生13人、中学生152人、高校生342人でした。全体の人数の大きさはもとより、小中学生という低学年での自殺者の数に衝撃を受けました。

自殺の原因や動機として、学業不振、進路に関する悩み、病気の悩み・影響などが多く取り上げられていますが、自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景があり、様々な要因が連鎖する中で起きていると分析されています。

子どもの命を救い、このような悲劇を失くすことは喫緊の課題であります。文部科学省では、子どもの自殺予防と教育のため、教員に必要な知識を獲得するための啓発や研修を進め、予防教育を行う際の手引きも作成するなどの取組を進めているとのことでもあります。

ただ、いじめ、不登校といった課題に比べ自殺予防は優先度が低いとみられがちで、教員の多忙化もあってなかなか取組は進んでいないとのことでした。

何より、自殺予防教育は極めてデリケートで機微に触れるテーマであることから、関係者間の合意形成や関係機関との連携体制の構築など周到な備えが前提条件とされています。

まず行うことは、すでに学校現場で実践されている、子どもが抱える悩みやストレスなどを周囲が気づき、受け止め、子どもが安心してSOSが出せるような教室づくりに努めることだと思います。

自殺という悲劇は起こしてはなりません。

御清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

松田教育長

会議録の署名委員は、末木委員にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

松田教育長

続いて前回1月10日の定例会の議事録についてですが、何か御意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

松田教育長

第2号 甲府市学校職員初任給、昇格等の基準に関する規則の一部改正について
資料に基づき、風間学校教育課長から説明をお願いいたします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありませんか。

よろしいでしょうか。

では、決定しました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

(2) 報告

松田教育長

第2号 なでしこ賞・撫子賞の表彰について

資料に基づき、風間学校教育課長から説明をお願いいたします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありませんか。

塚越委員

昨年度2月の定例会での発言について、御考慮いただきまして大変ありがたく思っています。
本日の資料を拝見しまして、同じ点について、再度御検討をお願いしたいと考えております。
「児童生徒の望ましい考え」という表現及び「友達との望ましい人間関係を作っているもの」という表現につきましては、再度、御検討いただきたいと思います。

また、43ページの『『甲府の子どもの教育』の設定』の部分について、現在の子どもに欠けている点を考え「思い遣る心」を設定したと書かれておりますが、子どもにそれが欠けているとすれば、私たち大人に欠けていて、その様子を示すことができていないために、子どもに「思い遣る心」が育っていないのではないかというふうに感じました。

言葉の端を指摘する様で大変恐縮ですが、以前は違和感なく受け入れられてきた表現も問題点があるというようなことが考えられるのではないかと思いますので、是非、文言を見直していただければありがたいと思います。

風間学校教育課長

ありがとうございます。

今年度もそういった御意見をいただいたということで、一旦受け止めさせていただいて、重く捉えていきたいと思えます。

また、来年度こういった形になるかにつきましては、再度本市教育委員会の中で検討して、改めるべきところは改め、進めていきたいと思っています。

上原委員

「なでしこ賞・撫子賞」について、学校生活の中で、子どもへの評価が学力の点数であるとか、スポーツの記録であることが多い中で、それ以外の子どもを称える貴重な機会になっていると感じました。子どもにとっても大きな励みになると思えます。

また同時に、教職員の方々が日常的にきめ細かく子ども達を観察していくことも重要と感じております。

甲府市の子ども教育の中核に位置付けている「思い遣る心」ですけれども、心というのは目に見えないものではありませんが、それが人に対する積極的な行為として表れ、そこに教職員の方々の気づきがあれば、子どもの心、つまり子どもの思いやりに光が当たりますので、この賞の意味が深まってくると思いました。

あともう1点ございます。

推薦対象の具体例6番目の「困難な状況」という表現について、これはその子どもが生まれたところの環境或いは急に降りかかった何かになると思えますが、それを子どもたちは受けとめて生きていかなければなりません。

そういう中で「家族愛に燃え」という部分が少し気になりまして、今、社会問題になっているヤングケアラーのことで少し関わってくるのではないかと考えました。

子どもは自分の家族の中の世界だけしか捉えられないことがあるので、それを称えることも大切ですが、先ほど説明でおっしゃった保護や支援ということにも注視していただければと思いました。

以上です。

風間学校教育課長

ありがとうございます。

いただいた御意見については、また生かしていけるところを生かしていきたいと思っています。

松田教育長

ありがとうございました。

それでは文言の見直し等について何点か御意見もありましたので、また検討の方をお願いしたいと思います。

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

松田教育長

その他、何かありますでしょうか
よろしいでしょうか。

4 閉会

松田教育長

それではこれをもって、2月定例教育委員会を閉会します。